

## 耳と目と心で

いよいよ校内音楽会が開幕します。それも、新井香絵実行委員長をはじめとする音楽会実行委員の皆さんの裏方としての企画・運営のおかげさまで。ありがとうございました。

各学級では、最優秀賞を目指し、日々練習や話し合いを重ねてきました。ここ数日は、歌声が学校中に響き渡っています。ここまで各学級が創りあげた、その学級だけの「合唱」をこのステージ上で悔いなく歌い切ってほしいと願っています。

また、各学級の合唱や午後の7～12組、音楽部、吹奏楽部の演奏をきく際のお願いもあります。それは「耳と目と心できいてください」ということです。この時の「きく」の漢字はこの漢字「聞」(提示)ではありません。頭に思い浮かんでいますか？この漢字「聴」

(提示)です。辞書によれば「聞く」は「物音を聞く」

「話し声が聞こえる」のように、音や声が自然に耳に入ってくることを表しています。それに対し、「聴く」は積極的に音や声に耳を傾ける意味があります。「聴」の漢字を4つに分解してみましょう。「耳」「+ (プラス)」「目」「心」です。この漢字から考察すると、「聴く」ためには、耳に加えて (プラスして)、目と心が重要だということが分かります。「目で聴く」「心で聴く」



く」が具体的にどうするかは説明しなくても、皆さんなら分かるはずです。

合唱をはじめ音楽は、ステージ上の人だけで創れるものではありません。全校生徒、保護者、職員みんな、会場全体で創りあげるものです。

保護者の皆様、ご来校ありがとうございます。各学級の合唱を、耳と目と心で聴いていただければ大変ありがたく思います。どうぞよろしく願いいたします。

では改めて、本日の校内音楽会 みんなで創り上げましょう！

みんなで楽しみましょう！